

東北女性が最幸になれるサロンづくりで美容業界を改革し地域の活性化にも貢献



ゆめづくり東北株式会社
代表取締役

楠本 文哉氏

ゆめづくり東北(株)の代表取締役を務め、1年で6店舗、2年で10店舗を超えるエステサロン「The Slim Line」を展開。また、「マシンを売らないメーカー」をコンセプトとした(株)b-modelsの代表としても活躍中。

ゆめづくり東北株式会社
代表取締役

中村 太雅氏

東北エリア専門のエステサロン「The Slim Line」を展開する、ゆめづくり東北(株)の代表取締役。"人生に夢づくり、ゆめ溢れる人づくり"を理念に掲げ、サロン経営を通じて東北の女性に夢と幸せを届ける活動を行なっている。

2人でかなえた、働く女性も
幸せになれるエステサロン

—— 現在、共同経営で東北を中心にサロンを展開しているお2人の、出会いから現在に至るまでの背景を教えてください。

中村代表(以下敬称略) 楠本は以前勤めていた経営コンサルティング会社の先輩で、ともにエステサロン経営者をサポートするため、全国を駆け回っていました。そのなかで、エステ業界のたくさんの魅力に気づき、「さらにエステ業界をよくしていきたい!」という気持ちを2人とも強く持っていました。その後、2人別々のタイミングで前の職場を退職し、一度はそれぞれの道を進みましたが、ある日「東北に夢があふれるサロンを出店しよう」というお互いの考えが一致し、一緒に起業することに。

楠本代表(以下敬称略) 私は経営コンサルティング会社を退職後、「マシンを売らないメーカー」をコンセプトとした(株)b-modelsの代表になりサロンを対象とする商売を始めましたが、働くうちにサロン自体の改革も必要だと思い始めました。

特に東北エリアは、47都道府県の中でも給与水準が低めで、サロン数も少ないことから、エステティシャンにとって厳しい環境ではないかと感じていました。そこでまずは、そんな東北エリアのエステティシャンを日本で一番幸せにするサロン[®]をつくるため、2021年7月、中村と



「The Slim Line」の未来[★]

地域の価値を上げられる存在へ
「ミシュランのお店に行きたい」と人が足を運ぶように、「価値ある仕事があるから東北に行きたい」と思うようなサロンをつくりたい。東北へ移った人が幸せになれば、そこを豊かな場所に変わるので、そうすることで地域にも貢献していきたいです。